

# ASK ニュース

Vol.0219

2016年9月12日(月)

担当：MS事業部 中嶋

〒460-0002

名古屋市中区丸の内 3-22-21

損保ジャパン日本興亜名古屋ビル 1F

ASK 税理士法人

TEL 052-971-1122 FAX 052-971-4488

## 銀行の営業時間

### はじめに

銀行店舗の営業時間を自由に変更することが可能と発表されました。そもそも、なぜ銀行の営業時間は午前9時から午後3時が多かったのでしょうか？今回は、銀行の営業時間について取り上げます。

### 営業時間が定められている

「銀行の営業時間は、午前9時から午後3時までとする。」と内閣府令で決まっています。これは、決済時間を統一する目的で明治時代から続いできた規制です。午後3時で窓口を閉めることは法的にも問題がありません。

窓口の営業時間を午後4時、5時まで延ばしている銀行も増えてきています。これは、法律で定められている時間が、最低限営業しなくてはならない時間帯を決めているものなので、銀行の都合によって営業時間を延長することは問題ありません。営業時間の延長は、銀行の企業努力とも言えるでしょう。

### 営業時間の規制緩和

現行制度でも、営業時間の短縮は、企業などが手形や小切手の支払いを決済するための当座預金を取り扱わない店舗に対しては、既に認められていました。しかし今回の金融庁の発表で、全て

の銀行に対して、午前9時から午後3時まで営業しておく必要がなくなります。これは、過疎地域の店舗の営業時間短縮を特に視野に入れてのもので、過疎地域の店舗を抱えている銀行は、店舗を開けている費用の負担が重く、統廃合を余儀なくされてきました。営業時間を柔軟に変更できれば、過疎地域の店舗廃止に歯止めがかかる可能性があります。

インターネットバンキングの普及もあり、過疎地域以外でも、銀行の戦略的な店舗運営が加速することが考えられます。来客が多い時間だけ営業する店舗や住宅地で夜間・休日に絞って開く店舗など、様々なタイプの店舗が出てくる可能性があります。

### おわりに

今後、振込をしようと思ったら、銀行が昼過ぎには閉まっていることがあるかもしれません。規制緩和が施行されたら、銀行の営業時間に、より注意を払っておくと良いと思います。